

## 2年次生学科ガイダンス資料

### 2024年度 英米語学科クラスアドバイザー 一覧表

クラス	1年(24生)	2年(23生)	3年(22生)	4年(21生)		
A	ハンフリー 恵子	ハンフリー 恵子	ゼミ担当教員がクラスアドバイザーとなる 4年今井ゼミ→岡田先生 4年サカモトゼミ→古村先生			
B	フィリップ・ラッシュ	フィリップ・ラッシュ				
C	新居 明子	新居 明子				
D	ブライアン・マクニール	ブライアン・マクニール				
E	甲斐 清高	甲斐 清高				
F	トレバー・アストリー	トレバー・アストリー				
G	ニコラス・ブラドリー	奥田 俊介				
H	真崎 翔	ニコラス・ブラドリー				
I	児玉 茂昭	真崎 翔				
J	奥田 俊介	岡田 新				
K	\	児玉 茂昭				
L	加藤 由崇	加藤 由崇				
M	トーマス・ケニー	川原 功司				
N	ケビン・オットソン	ケビン・オットソン				
O	吉本 美佳	吉本 美佳				
P	サイモン・ハンフリー	サイモン・ハンフリー				
Q	川原 功司	川原 功司				
R	\	トーマス・ケニー				
S・T	\	\			\	\

ただし、以下の学生のクラスアドバイザーは下記のとおりです。

1. 在学留学中の学生→留学アカデミックアドバイザー
2. 休学中の学生→前年度のクラスアドバイザー
3. 以上にあてはまらない学生→各専攻長

## クラスアドバイザー制の活用

- ① 各教員のオフィスアワー(予約なしで自由に訪問できる時間帯のこと)は、時間割冊子の裏で確認することができます。
- ② クラスアドバイザーが研究室に不在のときや緊急に連絡したいときは、メールしてください。各先生のアドレス(大学の Gmail のアドレス)は、学科ホームページ(<https://eibei.nufs.ac.jp/>)の教員紹介の人名をクリックして確認してください。
- ③ 教員が研究室に在室しているかどうかは、6号館2階エレベータ横の在室ランプでも確認できます。
- ④ 各教員の研究室の場所は6号館の各階に掲示しています。(もしくは、研究室 MAP を参照。)
- ⑤ 教員や学科からの呼び出しは、ポータルサイト及び学科掲示板(英米語学科事務室前)を通して行われます。また、自宅のパソコンや携帯電話でも確認できます。登下校の際には、必ず目を通す習慣をつけてください。呼び出しがあったときには、速やかに申し出てください。

# 研究室 MAP

## 6号館

### 3階: 英米語学科研究室/言語教育開発センター研究室 3rd floor of Building 6: Dept. of British & American Studies/Center for Language Education and Development

WC	WC	階段	外国語担当専任講師共同研究室 Full-Time Lecturers Office (Matsumi, Mortali, Resuello, Shibata, Tran, Turk, Villanueva)	6309 古村 Furumura	6310 田地野 Tajino	6311 ケニー Kenny	6312 梅垣 Umegaki	6313 マクニール McNeill
EV	非常勤講師控室 Part-Time Faculty Lounge	外国語担当専任講師共同研究室 Full-Time Lecturers Office (Alp, Cosenza, Katsuta, Kato, Meizlish, Mizoguchi, Walters, Ziffo)	6304 加藤 Kato	6305 ブラドリー Bradley	6306 甲斐 Kai	6307 ハンフリー(恵) K. Humphrey	6308	

非常勤講師のメールボックスはこちら！

### 6号館2階: 英米語学科研究室/事務室 2nd floor of Building 6: Dept. of British & American Studies

WC	6209	6210 ハンフリー(サ) S. Humphrey	6211 上田 Ueda	6212 吉本 Yoshimoto	6213	6214 オットソン Ottoson	6215 奥田 Okuda	6216 岡田 Okada
←K館へ	↑学科揭示板	英語学科事務室 DBAS Assistants Office 言語教育開発センター事務室 CLED Assistants Office	6202 印刷室 Printing Room	6203 ラッシュ Rush	6204 川原 Kawahara	6205 新居 Nii	6206 真崎 Masaki	6207 アストリー Astley

学科からの重要なお知らせを掲示しています！

教員が研究室に在室しているかどうかここで確認できます。

### 6号館4階: 言語教育開発センター研究室/教室 4th floor of Building 6: Center for Language Education and Development/Classrooms

WC	WC	階段	外国語担当専任講師共同研究室 Full-Time Lecturers Office 今井(Imai) 中土井(Nakadoi) 橋尾(Hashio)	644教室
EV	6401	641教室	642教室	

### 6号館5階: 英米語学科研究室/教室 5th floor of Building 6: Dept. of British & American Studies/Classrooms

WC	WC	階段	654
EV	6501 児玉 Kodama	651	

## 7号館

### 2階: 英語教育専攻研究室/教職センター研究室 2nd floor of Building 7: English Language Teaching Division/Course of Study for Teaching Profession

7201 会議室	7202 非常勤講師控室	7203 竹下 Takeshita	7204 大橋 Ohashi	7205 橋本 Hashimoto	WC	WC	7206 大石 Oishi	7207 太田 Ota	7208 佐藤 Sato	7209 英語教員 ワークショップ 事務室	7210 高橋 Takahashi	7211 福島 Fukushima 【現代英語学科】	7212 矢後 Yago	7213・7214 英語教育専攻 教職センター 事務室	階段
資料室	印刷室	↑教職センター揭示板	↑教職センター揭示板	↑専攻揭示板											
←721・722													7216 村上 Murakami	7215 ホワイト White	

## 授業について

### ・公欠制度(履修要項「公欠・忌引について」参照)

本学では、特定の事由により授業を欠席した場合のみ、公欠が認められます。該当する事由等の詳細については履修要項「公欠・忌引について」で確認してください。

### ・専攻言語プログラムについて

2年次専攻言語プログラムの履修に関する詳細を、別紙「【要確認】専攻言語プログラムについて(新2年次生向け)」に記載しています。必ず確認してください。

## 留学・イベント等について

### ・海外研修

夏期・春期の休暇中に、イギリス、カナダ、アメリカ、オーストラリアなどの提携大学の協力を得て、4～6週間の「海外研修Ⅱ」、6週間以上の「海外研修Ⅲ」を実施しています。研修期間中は、ホームステイをしながら現地の大学や語学学校に通い勉強します。英米語学科の教職員が同行しますので、初めて海外に行く学生でも安心して参加することができます(1年次生から参加可)。※研修先は年度により異なります。

一定の条件を満たした学生には、「海外研修Ⅱ」については4単位、「海外研修Ⅲ」については6単位が認定されます。大学からの補助金が1人1回に限り支給されます。

また、複言語として履修する言語圏(フランス語、中国語に限る)への海外研修も、一定の条件を満たした場合は参加可能です。

### ・中期留学

アイルランドのダブリンシティ大学で、3か月(12週間)を留学期間とする中期留学を実施しています。中期留学では語学学習だけでなく、現地で学んだ知識を活かしつつ、実際に海外で働くインターンシップも体験できます。具体的には、ホームステイをしながら期間中は英語集中コースで学び、5週目以降は午前中の英語集中コースに加えて、午後にインターンシップを行います。

一定の条件を満たした学生には、最大16単位が認定されます。大学から留学費用の全額または一部補助があります。

※2024年度中期留学の募集は終了しました。2025年度以降の催行の可否についてはポータル掲示または学科掲示板で確認してください。

## ・留学制度(国際交流部からの案内)

詳細は国際交流部からのお知らせや留学ハンドブックで確認してください。学科からの案内がある場合は、ポータルでお知らせします。

## ・海外留学の単位認定

名古屋外国語大学の留学制度を利用して留学する場合、留学先で取得した単位は、本学の単位に振り替えることができます。留学候補生として決定した学生は事前に行われるガイダンスに必ず参加し、詳細を確認してください。

## ・名古屋外国語大学英語スピーチコンテスト

毎年2期に英米語学科・現代国際学部の共催で開催され、全学科・全専攻の学生が参加可能です。出場者は決められたテーマに基づき、3分間の英語のスピーチを行います。準備講座も開かれますので、スピーチの書き方・話し方を練習することができます。詳細は、ポータルサイトにて改めてお知らせします。